

平成三十年九月五日 開会
平成三十年九月魚津市議会定例会提出議案

市長提案理由説明要旨

本日ここに、平成三十年九月魚津市議会定例会が開催されるにあたり、市政運営について所信の一端を申し述べますとともに、提案致しました案件について、その概要をご説明申し上げます。

冒頭、昨日市内に最接近しました台風 21 号につきましては、観測史上最大値の風速を計測し、本市内でも被害が確認されております。今後、被害状況を調査し、適切な対応を図ってまいりたいと考えております。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

また、六月二十八日から七月八日にかけての「平成三十年七月豪雨」では、十一府県で大雨特別警報が発表され、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や侵水害、土砂災害が発生し、死者が二百人を越える甚大な被害となりました。亡くなられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

県内におきましても記録的な豪雨となり、本市では、七月五日午後五時二十分に片貝川下流域の水位が避難判断水位に達したため、午後五時四十五分に経田地区の一部に「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し、午後九時三十分にかけて経田小学校に避難所を開設しました。

農道や林道等の被害が数件ありましたが、幸いにも、人命に係る被害はありませんでした。避難所の開設や運営については、六月に開催した魚津市防災力向上会議において「魚津市防災タイムライン」の運用を開始したこともあり、かなりスムーズな行動ができたものと考えております。

また、来る九月二十三日には、農村環境改善センターをメイン会場として「魚津市総合防災訓練」を実施致します。訓練に参加していただく自主防災組織や関係機関・団体と協力しながら、さらに実践的な訓練に努めてまいりたいと考えております。今後も、関係機関と連携を図りながら、引き続き防災体制に万全を期してまいります。

なお、本市の友好親善都市であります岡山県井原市でも、尊い人命が失われるなど大きな被害が発生しました。井原市長より、本市職員の派遣要請があり、早期の災害復旧を支援するために、七月十七日から九月末までの間、技術職員二名を派遣しております。井原市の一日も早い、復興を応援してまいります。

続きまして、最近の市政の取り組み状況について申し上げます。

記録的に暑い日が続いた今年の夏でしたが、八月三日から七日にかけて、魚津の夏の一大イベントである、「じゃんといい魚津まつり」が開催されました。今年も、九万四千人もの観光客や市民の皆さんにご覧いただきましたことに、まず、御礼を申し上げます。今年も、「海上花火大会」や「せり込み蝶六踊り街流し」など恒例のプログラムに加えて、さらなる魅力の創出として、「“魚津水循環”魚津縦断サイクリング」の開催や「UO! JAZZと花火の競演」、「せり込み蝶六踊り街流しでのオープン参加出場枠」を設けるなど、新たな取り組みを致しました。これからも、市内外から、より多くの皆さんに来ていただけるような取り組みを探っていきたくと考えております。

八月十二日には、二年に一度開催され、国内でもっとも過酷といわれるアドベンチャーレースである「トランスジャパンアルプスレース」が開催されました。今年も、スタート地点であるミラージュランドそばの早月川河口周辺において、市職員や関係者で、流木の除去などの環境整備を行い、万全の状態ですべてスタートしていただくことが出来ました。十九日までは、最終ランナーが静岡市の大浜海岸へゴールし、幕を閉じました。この大会を通じて、魚津のPR、交流人口の拡大に繋がることを期待しております。

八月二十四日からは、ありそドームでの開会式、前夜祭を皮切りに、桃山野球場と天神山野球場を会場として、「全日本大学女子野球選手権大会」が行われました。今年で三十二回目を迎えたこの大会は、「マドンナたちの甲子園」の愛称で親しまれ、女子野球の聖地である魚津で、熱い戦いが繰り広げられました。優勝されました日本女子体育大学をはじめ、参加された全ての大学生の皆さんの、決してあきらめない全力プレーは見る者に大きな感動を与えてくれました。ありがとうございました。

また、各会場では、地域振興会が中心となって選手たちとふれあい、今年も、新たにのぼり旗や授乳・おむつ替えテントを設置されるなど、温かなおもてなしをしていただきました。心から感謝申し上げます。さらに、今年度の新たな取り組みとして、OGや大会敗退後の学生に、大会期間中に継続して本市に滞在してもらうために、旧片貝小学校を利用して宿泊していただく取り組みを行いました。宿泊された立正大学、早稲田大学、関西大学の三大学二十二名の皆さんには、大会の応援や試合の運営に携わっていただくとともに、地元住民との交流会などを通じて、より魚津を深く知っていただけたものと確信しております。

次に、特定政策の分野別に、進捗状況と今後の取り組みについてご説明致します

す。

①まずは、教育環境の充実について申し上げます。

小学校整備事業に関しまして、「よつば小学校」につきましては、グラウンド改修工事が八月末までに完了し、二学期から授業で使用を開始しております。なお、駐車場の整備は、十二月の完成を目指して、工事を進めております。

「星の杜小学校」につきましては、校章のデザインが決定し、すでに、山側の木造三階建て校舎である普通教室棟の建て方が終わり、現在、海側の木造二階建ての特別教室棟の建て方を進めているところです。

小中学校教育用 I C T 環境等整備につきましては、東西中学校及び清流小学校において、国交付金を活用し、校内無線 L A N 整備を行い、また、東西中学校及びよつば小学校において、可搬式パソコン及び電子黒板を整備し、二学期から授業で使用開始致します。

今後も、本市の未来を担う子どもたちの教育環境の整備を進めてまいります。

また、魚津で起こった米騒動からちょうど百年となる七月二十三日に、ドキュメンタリー映画「百年の蔵」の完成記念上映会が新川文化ホールで開催されました。教科書にも掲載されている米騒動は、軍隊が鎮圧に出動して、時の内閣を倒すほどの激しい事件であったことから、暴力的なイメージがありますが、魚津で起こった米騒動は話し合いでおさまったり、この騒動をきっかけに貧困救済策が講じられたりしたことが特徴と言えます。この映画を製作された地元有志の方々や撮影スタッフ、撮影にご協力いただいた市民の皆さんに厚く御礼申し上げます。今後、十一月に開催する米騒動フォーラムでも上映するなど、当時の出来事を多くの方々に知っていただき、次世代に伝えていくきっかけにしたいと考えております。

②次に、子育て支援について申し上げます。

市内には、天候の悪い日や休日に子どもを遊ばせる場所が少ないことが課題となっています。そこで去る六月三十日から、ありそドームにキッズスペースをトライアルオープン致しました。本格設置に向けて、ニーズ調査や運営上の課題を明確にしながら、子どもの遊び場のあり方についてしっかりと検討していきたいと考えております。オープンして二か月あまりが経ち、利用者からは、概ね、好評をいただいておりますが、遊具を増やしてほしいとの声も伺っております。今後も、元気な子どもたちを育てていくことができるまちとなるように努めていきたいと考えております。

また、公約であります産婦人科構想の進捗状況につきましては、最も大きな課題でありました複数医師の確保に関しまして、難航しておりましたが、一応の

目処がついてきたところです。継続性の確保が極めて重要であることから、その方策について検討しているところであります。まだまだ多くの課題がありますが、構想が実現できるよう、関係者と協議を進めていきたいと考えております。

富山労災病院の隣接地に建設を計画しております「(仮称)子育て支援プラザ」につきましても、産科と一体的な施設と考えておりますので、同時並行で、事業を進めていきたいと考えております。

どちらも多額の費用が必要となりますので、国庫補助金などの財源確保に努め、できるだけコンパクトなものにしながら、産み育てやすい環境づくりを推進していきたいと考えております。

③次に、観光振興について申し上げます。

本年四月にリニューアルオープンした魚津埋没林博物館の入館状況につきましては、四月から八月二十日までの累計で、昨年度が一万七千九百三十九人だったのに対し、今年度は四万一千二百五人と約二・三倍となっております。なお、有料エリアの比較では約八パーセントの増となっております。

また、今年度は、春型蜃気楼が過去最多の三十九回観測されております。六月三十日には、十二年ぶりのAランクの蜃気楼が出現致しました。大勢の観光客や市民の皆さんが、幻想的なパノラマショーに感動の声を上げておられました。こうしたことから、今年、本市の代表的な観光資源である「蜃気楼」は、数多くのメディアに取り上げていただきました。これを機会に、さらなるPRに努め、魚津の知名度向上に繋げていきたいと考えております。

魚津のさかなブランド化推進事業と致しましては、魚津漁協を中心にブランド化を進めている「魚津バイ飯」が地域団体商標に登録されました。地域団体商標は、本市では「加積りんご」に続く二件目の登録となります。この登録を弾みに、魚津漁協と協力しながら、全国に魅力を発信していきたいと考えております。なお、昨年、「魚津バイ飯」がグランプリに輝いた「Sea級グルメ全国大会」が、今年度は北海道紋別市において、八月二十五日、二十六日に開催されました。本年も参加し、昨年に引き続き、その魅力を全国に発信したところです。

④次に、産業振興について申し上げます。

新分野産業育成事業につきましては、ゲーム開発者の育成・支援イベントである「GAME サミット」の第一弾プログラムとして、七月十四日と八月十八日に、ゲーム開発者を養成する「UOZU GAME BOOT CAMP」を実施致しました。当プログラムには十五チーム約五十人の参加があり、今後も若者の定着と働く場作りを進めるために、ゲームのまちとしてのプロジェクトを推進していきたいと考えております。

⑤最後に、魅力的なまちづくりについて申し上げます。

定住促進の取り組みと致しましては、六月二十四日と八月二十一日に、「うおづ移住者交流会」を開催致しました。移住者の皆さんに交流の場を提供することにより、移住者のネットワーク作りや困り事や悩み事を相談できるようにして、快適な「U O Z U L I F E」を過ごしていただくことを目的としております。また、五月より、本市の情報をインターネット動画で発信しております。魚津の魅力が満載されており、これらの取り組みを通じて、定住促進へ繋がりたいと考えております。なお、本年五月から七月にかけて、三か月連続で人口が増加致しました。これは、五年ぶりの出来事であります。八月は、自然減が二十三人、社会増減はありませんでしたので、合計二十三人の減となり、残念ながら、四か月連続の増加とはなりませんでしたが、今後とも魅力的なまちづくりを進め、人口増に繋がっていきたいと考えております。

二十歳の挑戦事業に関しましては、東洋大学の学生による本市が抱える地域の課題分析やその解決策についての提案を受けることとして、先月末に実施致しました。人口減少対策や若者の定着には、自分の地域を知ることが大切であることから、四年目となる今回は、将来の魚津を支える子どもたちに地域の魅力を再発見してもらうため、市内の小学生を対象に魚津の知識を問うクイズ大会を実施致しました。今後、十一月の学園祭での参加学生による魚津のPRを経て、来年二月には、一年間の取り組みを踏まえた調査・研究の成果報告を受ける予定としております。

さらに、富山大学の学生が本市の課題を探り、活性化策を提案する「U O ｓ プロジェクト」の成果発表会が、八月十日に開催されました。六月に「うおづ地域研究員」に委嘱された学生が、聞き取り調査などを行い、観光PRと地域交流の二つのテーマでの提案をいただきました。今後、提案内容の実施について、検討し、活性化に繋がりたいと考えております。

特定政策分野以外にも、

公共施設再編事業につきましては、学校規模適正化計画に伴う統合により閉校となった旧上野方小学校の校舎及び校舎敷地の利活用方法について、幅広く民間からアイデアを募集するサウンディング型市場調査を実施致しました。五つの事業者から貴重なご意見・ご提案をいただき、その中には、具体性の高いものもありました。この内容を踏まえて、地域振興や地域活性化に繋がる活用方法を念頭に置きながら、事業者募集に取り組んでまいります。

また、「うおづのうまい水」が昨年に引き続き、モンドセレクションにおいて最高金賞を受賞しました。この受賞は、本市の水が安全・安心でおいしい水であ

ると世界基準で評価を得たものであり、今後も、「うおづのうまい水」の知名度を高めながら、水循環の保全、魚津のイメージアップを図りたいと考えております。

続きまして、行財政改革の進捗状況についてご報告致します。

本市の財政状況と課題につきましては、先の六月議会全員協議会でもお示したように、今後、歳出面では、社会保障関係経費や老朽化した公共施設の維持管理費、特別会計への繰出金等が増大すると見込まれる一方、歳入面では、今後の経済情勢等にもよるものの、市税等の大幅な増収は期待できないため、このままでは、毎年度、財源不足が見込まれる状況にあります。

こうした中、将来にわたって、市民に必要な行政サービスを持続的に提供していくと同時に、少子高齢化や人口減少対策、地域の活性化といった喫緊の課題に対しても迅速に対応していくためには、できるだけ早急に、一つは「基金繰入に頼らない予算編成」、一つは「臨時的、緊急的な行政ニーズに対応するための一定額の財政調整基金の確保」を実現しなくてはなりません。

その実現に向けて、早速、これまで、今年度予算の一部について執行を抑制し、経費の削減に努めているほか、旧小学校施設を民間事業所に有料で利用してもらう準備なども進めており、また、PFI等の民間活力導入の検討や定員管理計画見直しの検討も行っているところであります。

また、現在、平成二十九年度決算も踏まえて、総合戦略事業をはじめすべての事務事業について効果の検証と見直しを行っているところであります。今後、これらの検討結果、市税や国の交付金等の動向も踏まえながら、来年度予算要求時までには、平成三十一年度行政経営方針の提示と併せて、平成三十四年度までの財政収支目標を策定する予定であります。

今後も、市政全般の各方面において、市民の皆様や議員各位のご支援とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

それでは、今定例会に提出致しました案件について、ご説明申し上げます。

まず、**議案第五十五号** 平成三十年度魚津市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に二億千八百三十八万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ百八十五億五千二百十三万八千円と致したいのであります。

今回補正するものは、住吉・上中島・松倉統合小学校整備事業や鳥獣被害対策事業など、必要欠くことのできないものに限定し、計上致しました。

これらの財源として、国庫支出金、県支出金、繰入金、繰越金、諸収入及び市債を充当致しております。

議案第五十六号 国民健康保険事業特別会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に二百八十三万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ四十三億八十三万円と致したいのであります。

退職者医療交付金の精算に伴い超過額の返還分として二百八十三万円を計上し、財源として繰越金を充当致しております。

議案第五十七号 平成三十年度魚津市介護保険事業特別会計補正予算は、介護保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に四千八百三十五万一千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ四十七億七千五百五十五万一千円と致したいのであります。

平成二十九年度決算に伴う国・県負担金の返還、事務費の精算及び介護給付費準備基金への積み立てとして四千八百三十五万一千円を計上し、財源として支払い基金交付金及び繰越金を充当致しております。

議案第五十八号 平成三十年度魚津市水道事業会計補正予算は、資本的収入において八十四万円を増額し、資本的収入額を二億五千六百五十八万六千円と致したいのであります。

今回の補正は、主に、当初予算額の範囲内で資本的支出額の補助金の対象事業費を増額し、資本的収入額の補助金を増額、企業債を減額するものであります。

次に、予算以外の議案について申し上げます。

条例関係の議案と致しましては、**議案第五十九号**から**第六十三号**まで、魚津市教育センター設置条例や魚津市個人情報保護条例などについて、全部改正を一件、一部改正を三件、廃止を一件提案致しております。

条例以外の議案と致しましては、

議案第六十四号 財産の処分については、吉島市営住宅跡地売却に関して、予定価格が二千万円以上かつ地積が五千平方メートル以上でありますので、地方自治法第九十六条第一項第八号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第三条の規定により、議会の議決を求めるものであります。なお、本議案につきましては、去る八月二十九日付けで売買仮契約を締結しており、早急に本契約を締結し、定住促進を図りたいことから、本議会初日にご審議の上、議決いただきますようお願い申し上げます。そのほか、**議案第六十五号**市道の認定に関するもの、**議案第六十六号** 水道事業会計の未処分利益剰余金の処分に関するものについて、三件提案致しております。

報告案件と致しましては、**報告第五号から第八号まで** 平成二十九年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について監査委員の意見を付して報告するとともに、一般財団法人魚津市施設管理公社の経営状況に関する説明書、専決処分などについて四件報告致しております。

認定案件と致しましては、**認定第一号から第九号まで** 一般会計歳入歳出決算及び特別会計八会計の歳入歳出決算、並びに水道事業会計歳入歳出決算の認定について、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものであります。

以上、本日提出しました案件の説明と致します。

何卒、慎重ご審議のうえ、議決をいただきますようお願い申し上げます。